

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。

※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。

※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	リーズ大学	氏名	
国名	イギリス	学籍番号	
留学期間	2019年7月～2020年1月	記入年月日	2020年2月24日

1 履修した科目についてお書きください			
主な専攻分野: <input checked="" type="checkbox"/> 国際関係系 (Politics & International relations)			
科目名	International Politics	科目名	Making of the Modern World
授業内容	植民地の歴史について各エピソード(アジア、ヨーロッパ、インドなど)学び、そこからどのように現在の世界が築かれたかを学ぶ。	授業内容	毎週異なる話題について世界全体の情勢や枠組みを学び、セミナーにさらに詳しくトースタテを行う。
授業形式	lecture & seminar	授業形式	lecture & seminar
単位数	20 credit	単位数	20 credit
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	discovery module	難易度 Course No.	discovery module
宿題の量		宿題の量	
コメント	毎週授業までに読んでおかなければならない資料が多かった。1冊の本3、4冊ほど読み、ディスカッションにも対応できるようなしつけがなされた。	コメント	レポート課題やリサーチの量が大きく、こなすのに十分な時間がかかった。
科目名	Modern Sociology	科目名	
授業内容	どのように現代の社会学が「社会の中で作り出されたか」と具体的に学ぶ。	授業内容	
授業形式	lecture & seminar	授業形式	
単位数	20 credit	単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	discovery module	難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント	あまり知らなかった分野の授業を選択したため、予習にさらに時間がかかったが、内容は非常に面白く、社会を捉える枠組みについて理解することができた。	コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>「授業」を大人教員で「聞く」授業だけでなく、セミナーという少人数制の授業で積極的にディスカッションしなければならなかった事が、普段と少し異なる環境であったことの戸惑いだが、「オフ・サイト」を意識し積極的に喋ることにした。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>週2回寮の友達とジムでトレーニングをしていること、週1回リース大学の女子バスケットボールで、体を動かすようにしている。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p>
寮(またはアパート、フラット)名とその場所	Henry Price Residence . 大学内 business schoolの近くにある。
設備についての簡単な説明	<p>9人で1つのフラットで暮らす。シャワー、トイレは2人で1つを共有する部屋がほとんど「1人」(8人)、1人は2倍ほどの家賃を払って、en-suiteというシャワー・トイレを1人で使うことが出来る部屋(たまたま2倍くらい「私はここにいます」)9人で狭めた共同キッチンを使っている。</p>
部屋について	1 人部屋 広さ 8 畳くらい
ルームメイトについて	<p>寮のフラットは1タームに滞在する留学生で集められているので、とても友好的で、イタリア人、フランス人、オランダ人、オーストラリア人、中国人、韓国人と多国籍な環境の中で、共通言語である英語を使いながらお互いの国の文化交流もでき、とても充実している。</p>
寝具や生活用品の入手方法	<p>最初に寮の契約をする際に、bedding pack を見舞入するか聞かれたため寝具はそこで見舞入した。デザインは決められていたためこだわりがあるなら日用品店(wilkoとか)で見つけたいかも。料理器具はモリソンズで最初に見舞入。包丁、フライパン、鍋、洗剤などは全てモリソンズで午前まで。安いのがおすすめ。お米(白米)はamazon 配達。</p>
生活の感想	<p>目の前に公園が広がっていて部屋からの景色は穏やかで、あつし、共同生活して寮生と仲良くなることもできるとも良かったが、公園の一部が「墓地」になっており、夜中に幽霊が出たり、色々と「ハロウィン」もあった。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>全て自炊であり、共同キッチンで寮生に会って一緒にお互いの料理作りをする事もあったが基本は1人。カレー、シチュー、パスタなど簡単なものしか作れなかったため最初はなかなか「不慣れ」だった。</p>

6 医療保険についてお書きください

渡航前に加入した保険

AIG 損保

留学先大学にあった医療保険制度

NHS Student (登録完了までに3日ほどかかりました)

留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)

かみを食べたといはらじめといは興奮が身取れてしまったため、歯の治療へ行いました。

7 費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)

		(現地通貨)	
渡航旅費) 往復分を 買いました	150,000	円
帰国旅費			円
引越し(往復で)			円
保険		450,000	円
語学研修費	よ3400	510,000	円
留学先学費	よ8300	1,245,000	円
本学学費		100,000	円
教材費			円
住居費		700,000	円
食費		500,000	円
その他(ヨーロッパ旅行)		150,000	円
()			円
()			円
合計		3,160,000	円

換算率 (1 円 = 150 円)

受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください

なし

8 留学前の準備について教えてください

日本から持参すべきもの

日本ではか手に入らない調味料 (みそ、醤油など)
 フリーズドライのみそ汁 (日本人なら絶対必要!!)
 コンタクトの洗浄液など (海外では見つけることができなかったため)

留学前にしておけばよかったこと

イギリスの片青碧、社会事情 (例えば「Eシ離れ脱」) についてもっと理解をしておけば良かったと感じました。
 また英語 (特に単語) はやっておけば「あとほど」スローリーやライティングなどの引き出しになったがなし、やっておくことをオススメする。

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>International politicsの授業のセミナーにおいて、偶然私以外の生徒は全員イギリス人だったので、言語がスムーズにはなかったけれど、分からないうちに何度も聞くなど理解することに努めた。イギリス人だけでなくヨーロッパ出身の生徒は言語するのがとても早い傾向にあって、始めは聞きとり会話することに苦労したが、慣れてくれば話せるようになった。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>私は普段系総合正統学部で学んでいることは全く異なる分野についてを選択し、学びを深めることができた。より国際的な視点で物事を捉えられるようになった。精神面においては、新しい環境に一人で飛び込むのが最初不安だったが、様々なハードルを乗り越えることができたため何事にも動けなくなり、成長できたと感じる。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>2月上旬は日本に帰国してから就職活動を開始。 今後は4年で卒業するために互いの単位(30単位以上)の取得と就職活動、卒業論文全てを両立し、3、4年の授業は同時履修をする。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学することで、自分を見つめ直すための機会になることは間違いない。英語力を鍛え上げることが出来るのはもちろんのこと、さらに新しい環境に適応し、学ぶことで自分を成長させてくれると思う。 元気で長けて下さい!!</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>